

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

中小企業の勝ち残り方 入山 章栄 (早稲田大学ビジネススクール教授)

1. 中小企業の強みは柔軟に変化できること、同族経営が多いことだ。大企業も中小企業も優秀な経営者がいるかどうかが重要だ。中小企業は小回りが利き、全体を変えていきやすい。変革には20年、30年と長期の視点が必要だ。同族経営であれば、トップが長時間経営に取れ組める。変化の激しい時代は中小企業のほうが有利だ。これからは、中小企業の時代になると考えている。
2. イノベーションを生むには新しいアイデアが必要だ。新しいアイデアを生むためには、自社と懸け離れた領域の知識を幅広く持ち、既存の知識と掛け合わせていく必要がある。多様な領域の知識を持った新しい経営者と、中小企業が蓄積してきた技術やブランドとか組み合わせれば、イノベーションが起きやすい。だからこそ事業承継を促して、新しい経営者が本業を潰す勢いで、リスクを取って挑戦できるようにすることが大事だ。
3. 地方の中小企業はつい「まずは東京へ」と思ってしまいが、そこを飛び越えて世界に出るべきだ。海外展開の際には、自社を見つけてもらうことで肝になる。違う分野の展示会に参加するなど多様な人と交流することで、思いも寄らない企業が注目してくれ、新しいシナジーが生まれる可能性も高くなる。

(参考:「週刊東洋経済」2024年5月25日号)

経営者のための理念・哲学

「ただ無我一法のみ」(悟り)

横田 南嶺 (臨済宗円覚寺派管長)

1. 明治時代の作家・斎藤緑雨という人の言葉に、「拍手喝采は人を愚かにする道なり」とあります。決して自惚れずに、自分を律することはとても大事です。
2. 白隠善寺の『遠羅天釜』という書物の中に出てくる話です。お釈迦様がある時、一番弟子の迦葉菩薩に質問なされた。「どのような修行をすれば、大涅槃(悟り)に至ることができるか」と。すると迦葉菩薩は坐禅が大事だとか戒律を守ることが大事だとか、思いつく限り答えるけれども、お釈迦様はすべて許可ならなかった。そこで迦葉菩薩が「では、一体何が必要ですか」とお尋ねすると、お釈迦様は「ただ無我の一法のみ、涅槃に契うことを得たり」とお答えになった。つまり、私をなくすことだ。

(参考:「致知」2024年8月号)

経営者のための危機管理

新たなジャパン・バッシング(素通り)

「再生エネの後れ」

1. 企業が「脱炭素」を果たすために不可欠な再生可能エネルギー。安価で安定的に調達できるかが、国や企業の競争力を左右する時代に入った。国際会議では2030年までに世界の再生エネ容量を3倍に増やすことになったが、日本は地形や気候条件、コスト面から欧州などに後れを取っている。既に再生エネを巡る国内の争奪戦は始まりつつあり、出遅れば未来はない。
2. 米アマゾン・ドット・コムやグーグルも世界で再生エネを囲い込む方針だ。外資大手が国外に進出する際、再生エネ利用はもはや前提になりつつある。逆にいえば、再生エネ比率が低いことを理由に日本への投資を敬遠する、新たなジャパン・バッシング(素通り)が始まりかねない。

(参考:「日経ビジネス」2024年6月3日号)

古典に学ぶ

怒りとは自分自身の心がつくり出している。

1. 「怒りをつくり出しているのは、自分の心」と言うと、「そうは思えない、自分を怒らせる人が悪い」「誰だってあんなひどいことをされれば怒るはずだ」と憤る人もいるでしょうが、果たしてそうでしょうか。
2. クレーマーになる人とそうでない人がいるように、同じ行動をとられた時に激怒する人がいる一方で、平然と受け流せる人もいるものです。つまり、怒りとは自分自身の心がつくり出しているものなのです。

(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)